

# 一般質問通告表

平成27年第2回始良市議会定例会（6月19日（金） 午前9時00分開会）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 本村 良治	1. 子どもの貧困について	<p>子どもの貧困については、マスコミ等で最近よく取り上げられている。</p> <p>貧困世帯の保護者の多くは、必要な支援を受ける方法すら知らない場合が多い。一方、現在の支援の中心は、生活保護などの既に支援を受けている世帯を中心にしたものになっている。その前に、支援を受けられない多くの貧困世帯が苦しんでいる。そのために従来の画一的で受身的な相談事業にとどまらず、ケースワーカーや民生委員・児童委員と共に連携したアウトリーチ手法による積極的な貧困世帯へのアプローチ方法の検討と子どもの状況をいち早く把握できる学校現場と福祉部との連携がとても重要になってくる。</p> <p>始良市において行政や教育委員会が現在、子どもの貧困解消についてどのような取り組みをしているかその現状と今後どのような施策を展開していくかを問う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 貧困率について説明せよ。</li><li>(2) 10年前と比較すると貧困率はどのように推移しているか。</li><li>(3) その社会的要因をどのように分析しているか。具体的に説明せよ。</li><li>(4) 現在、始良市及び教育委員会は子どもにどのような支援を行っているか。</li><li>(5) 現在、支援を受けている家庭以外の貧困家庭に対して、どのような支援や配慮を行っているか。</li><li>(6) 子どもの貧困についての情報をキャッチするために、福祉部と教育委員会はどのように連携を取ってい</li></ol>	市長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 特別支援教育について</p>	<p>るか。</p> <p>(7) 連携のシステムを具体的に説明せよ。</p> <p>(8) 貧困解消のために、今後どのような施策を展開していくか。具体例を挙げて説明せよ。</p> <p>特別支援教育が学校現場に導入されて久しいが、その成果と今後の課題克服へ向けた支援教育の方向性を問う。</p> <p>(1) 支援員配置の目的を説明せよ。</p> <p>(2) 支援員の報酬について国によりどのような財政措置がなされているか。具体的に説明せよ。</p> <p>(3) 市内の学校における支援員の配置状況を各学校別に説明せよ。</p> <p>(4) 支援員を配置したことによる成果を具体的に説明せよ。</p> <p>(5) 支援員一人当たりの年間所得はいくらか。</p> <p>(6) 今後、学校から増員の要望が出たらどのように対応するか。</p> <p>(7) 現在、学校現場で特別支援教育を推進して、どのような課題があるか。</p> <p>(8) 支援員の勤務実態はどのようになっているか。</p>	<p>教育委員長</p>
	<p>3. 農業・農協改革について</p>	<p>新聞報道によるとT P P交渉が大詰めになってきた。昨年からの農協改革も山場を迎え、ほぼ改革の全容が明らかになってきた。</p> <p>(1) 農協改革の概略を説明せよ。</p> <p>(2) 改革の中で全農（全国農協中央会）は農協法から削除された。そのことによってどのようなメリットあ</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>るいはデメリットが予想されるか。          具体例を挙げて説明せよ。          (3) 農家への影響はどうか。          (4) 減反政策と農協改革はどのようなつながりがあるか。          (5) 農協改革が地域と農業へどのような影響を与えるか。具体的例を挙げて説明せよ。          (6) 農協改革により農家の所得はどのようになるか。          (7) T P P交渉の山場で、コメの輸入枠拡大が大きな課題になっている。枠の拡大が決定したら、日本の農業にどのような影響を与えるか。          (8) 今回の農協改革により農業の活性化の方向性はどうか。</p>	
2. 森川 和美	<p>1. 子ども・子育て支援新制度について</p> <p>2. 在宅介護の充実について</p>	<p>本年4月から始まった子ども・子育て支援新制度によって、本市の待機児童状況はゼロに近づいたか。</p> <p>認可保育所の利用要件が緩和され、パートタイムで働く人や求職活動中さらに育児休業中の人にも利用が可能になったはずだ。本市はこれらのすべての保護者を組み込んだのか。</p> <p>政府の子ども・子育て会議でパート労働の人が認可保育所などを利用するための最低限必要な就労時間が月48時間から64時間と決まった。この範囲内で自治体が独自の利用要件の基準を定められるはずだが、本市の内容はそのほかも含めてどのように決定したのか。</p> <p>近年、少子化や核家族化によって家族が小単位になり、10代、20代の</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 4月からスタートした3公共施設等について</p>	<p>子どもや若者が家族を介護する事例、また正反対に老々介護の世帯も増え続けているとの報道がある。</p> <p>さらに、こうした家族構成の変化により介護離職する働き盛りの男性の増加もあるとされている。</p> <p>(1) このような実態が本市にもあるのか。あるとするならば、今後どのような施策、支援が必要と考えるか。</p> <p>(2) 認知症介護者の実態はどうか。</p> <p>(3) 家庭での介護者は、物、心身共に負担が大きい。介護者への支援を今後さらに充実すべきと考えるがどうか。</p> <p>松原なぎさ小学校、消防本部庁舎、給食室別棟の3施設が本年4月1日からスタートした。</p> <p>これらの施設の現状と課題があれば示せ。</p>	市 長
3. 新福 愛子	1. 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援策について	<p>(1) 国は今年度、全国150市町村でさまざまな機関が個々に行っている妊娠期から子育て期にわたるまでの支援について、ワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）を立ち上げ、切れ目のない支援をスタートさせている。</p> <p>そのワンストップ拠点には、保健師・ソーシャルワーカー等を配置して、きめ細やかな支援を行うことにより、地域における子育て世帯の「安心感」を醸成する事業で今後、全国展開を目ざしている。</p> <p>子育て世代の流入人口が県内で突出する本市では特に期待される事業</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 自治会への加入問題	<p>と考えるが、本市の計画を問う。</p> <p>(2) ニーズが高まっている「産後ケア」への助成の検討の進捗状況を問う。</p> <p>(3) 南九州などの地域に多いといわれるHTLV-1は、主に母乳による母子感染が原因とされる。感染防止の情報提供や希望者への粉ミルクの支給の検討はできないか。</p> <p>(4) 乳幼児の健診日は、すべて月曜から金曜日までの平日となっている。仕事を持つ親から日曜日の健診日を希望する声があるが、どう考えるか。</p> <p>地域を住み良いまちにしていくために自治会への加入が望まれているが、ライフスタイルの多様化や都市化が進む中、任意団体とはいえ自治会への加入問題が顕在化している。</p> <p>社会福祉協議会・衛生協会・防犯暴力追放協議会など、地域生活者として日頃から恩恵を受けている安全や安心活動への負担金だけを納める準会員制度などの推進で、加入者も未加入者も同じ地域の住民として心地よく生活できる懐深いまちづくりも必要と考える。見解を問う。</p>	市 長
4. 堂森 忠夫	1. 一次産業（農林業）の振興について	<p>(1) 少子高齢化社会の波が大きくなるなかで一次産業分野では、後継者不足により荒廃地が目立つ状態である。</p> <p>新たな取組みとして、この荒廃地の自然の力を最大に活かし、漢方薬栽培の振興・推進に努められないか。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 少子高齢化対策について</p>	<p>(2) 近年、ほ場整備で田んぼまで車が進入可能となったが、若者は快適で便利な街や都会へ出ている家庭が多い状態である。このままでは、先祖が苦勞して開墾した田畑のほとんどが休耕地となり、一次産業や地域の文化を継承することは、危機的な状態に陥ると思う。</p> <p>この危機を打破していくためには、この休耕地を農業体験研修場として、公務員・児童生徒や企業等の社会貢献活動の取組みとしての休耕地活用を推進できないか。</p> <p>(3) 中国や韓国への木材輸出量が九州では伸びていると聞くが、市内の林業市場や林業関連雇用の現状はどうか。また、バイオマスボイラーをくすの湯に設置したが、薪燃料の年間使用量確保は十分か。林業の振興には需要拡大に力を注ぐことが求められるが、今後、どのような振興策に努めるのか問う。</p> <p>(1) 旧町時代は各消防分団で独居老人宅の訪問があり心強かったが、近頃は自治会員数も減少して、まわりに人が少なく、頼る人がいないので、夜は怖いとの声を聞く。</p> <p>独居老人宅には緊急用の連絡通知警報ベルなどの設置を図り、安心して住めるよう安否確認等の機能強化に努められないか。</p> <p>(2) 各地区の少子化対策問題は、一挙に解決する問題ではないが、いろいろな事業計画を実行するなかで、農山村集落など過疎地域においての事業計画の遅れにより、少子高齢化</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p data-bbox="395 1037 692 1122">3. 加治木港町の活性化策について</p>	<p data-bbox="748 226 1284 309">や各分野の後継者不足などアンバランスな社会になったのではないか。</p> <p data-bbox="748 320 1284 645">事業計画には掲げても、費用対効果などを理由に山村地区の施設等への事業を控えてきたので、少子高齢になったと地区民は捉えているが、採算を重要視するだけでなく、全て地域文化を継承し少子化対策としての事業強化を推進できないか。</p> <p data-bbox="748 656 1284 931">例えば、消防施設や校区児童増の為の事業強化として、山村地区の市営住宅や空き家を整備して販売や借家としての活用を推進する事業を進めることが、少子化対策につながると察するが、どのように考えるか。</p> <p data-bbox="748 1037 1284 1216">(1) 港町商店街の道路は、昨年度の事業で整備され喜ばしいところだが、その反面、駐車場がなくなり、客数が減り続けている状態である。</p> <p data-bbox="748 1227 1284 1361">この問題を解決しないと港町の活気は回復できない状態であるが、どのような対策を考えているか。</p> <p data-bbox="748 1373 1284 1648">(2) 警察跡地は、更地にして周囲を囲い、活かされていない状態だが、使用目的が決まるまで県民に解放できるような施策を市で講じることが、地域の活性化につながると思うが、考えを示せ。</p>	<p data-bbox="1340 1037 1437 1070">市 長</p>
	<p data-bbox="395 1753 692 1839">4. 河川災害について</p>	<p data-bbox="748 1753 1284 2029">(1) 梅雨や台風時期になると、大雨により河川災害が発生しやすい状況となる。昨年度、辺川下地区の栗脇橋が復旧完成したが、橋の左岸側の橋への乗り入れ口はガードレールもなく、車が川へ転倒する事故が起こ</p>	<p data-bbox="1340 1753 1437 1787">市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>るような設計施工だが、危険を想定して変更や追加工事はできなかったのか問う。</p> <p>(2) 湯之谷川に流れる用水路（桑迫地区）ではシラス山が用水路へ滑り落ちているが、その対応を問う。</p> <p>また、ゆのたに橋の右岸側は近年、一戸建て住宅が密集してきたが、河川敷沿いの生活道路にはガードレールがない所もあり、危険な状態であるため、県へ整備を促すべきではないか。</p> <p>(3) 河川災害を未然に防ぐため、河川敷の寄州を官民一体となつての作業実践部を組織化（NPOなど）して、寄州撤去などが施工できるようにし、安心安全な地域づくりが可能な社会貢献型のNPO活動で河川敷を守ることはできないか。</p>	
5. 吉村 賢一	1. 水路の維持管理体制について	<p>先般、山野自治会から生活排水路の整備を求める請願が提出されたように、あちこちで排水対策の要望や管理に対する苦情が出てきている。</p> <p>(1) 河川を除く水路の管理図やその役割分担はどうなっているか。</p> <p>(2) 土地改良区の管理できる範囲は地理的にも、物理的にも経済的にもどこまで可能とみているか。</p> <p>(3) 下流に水田が無い箇所はどの程度の範囲・面積になるのか。</p> <p>(4) 用途地域や水田耕作の状況を考えながら下流側の排水路は土木管理にできないのか。例えば反土黒川住宅下流。</p> <p>(5) 耕地課管理の区間距離・範囲を示せ。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 文化と歴史あるまちづくりと観光</p>	<p>(6) 土木課管理の区間距離・範囲を示せ。なお、都市計画区域は面として面積や範囲で示せ。</p> <p>(7) 市全域の水路の管理体制を検討しなければ、ならない。用途地域を加味して土木課、耕地課、土地改良区の大まかな役割分担・責任範囲を明瞭にできないか。</p> <p>市長は、最近の新聞記事を見ても「歴史と文化」を大事に考えていることがよく分かる。</p> <p>(1) この「歴史」とは、どのような捉え方をしているのか。</p> <p>(2) 同様に「文化」とは、どのような意味合いで捉えているのか。</p> <p>(3) 始良市は、宮島・松原が中心になりつつあり、蒲生、加治木は周辺部になりつつある。蒲生はカモコレで立派なまちおこしを展開している。加治木は歴史と文化の町と言われながら、由緒ある造形物が壊れていく。周辺地域は、それぞれの地域で歴史や町並みを維持してこそ持ち味を出せるのではないかと思うがどうか。</p> <p>(4) 明治36年建築、110年の歴史ある森山家主屋の寄付を受け、市の観光拠点として整備が進められようとしている。1ポイントだけでなく、また、点で観光地・見所を結ぶのではなく、線または面として周辺散策コースとして、連携した整備構想はどのようになっているか。</p> <p>一例では、森山家から旧網掛川護岸、おくらん土手（網掛川公園）、大口筋、龍門司坂、金山橋まで繋ぐな</p>	<p>市 長</p>

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>ど。</p> <p>(5) 港町の飲食店街は苦戦している。港町に企業誘致を図るべきである。一方で森山家と結び、築堤後100年近い網掛川旧護岸を観光客の休息の場として、なおかつ飲食店街に足を運ぶきっかけになるような仕掛けをつくることを考えたかどうか。</p> <p>(6) 港町の整備によって費用対効果はどのくらいあったのか。飲食店への客は以前と比べ増減はあったのか。旧護岸への駐車ができなくなって客が減ったのではないか。</p> <p>(7) 観光おもてなし計画を一口で言うと、始良市の観光の目玉は何か。観光計画の数字目標や宿泊客の将来目標は何人か。</p> <p>(8) 九州経済連合会は、九州への観光客を2013年に126万人だった外国人入国者を2023年には440万人まで引き上げると6月2日に発表した。始良市としても、国内のみならず外国人の来訪者に対する備えも考えるべきだと思うがどうか。</p>	